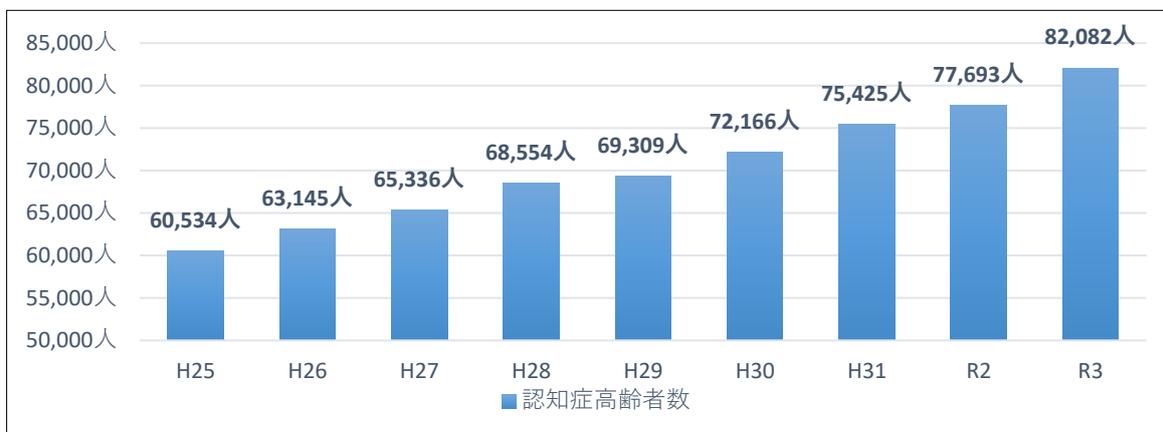


1. 認知症高齢者数について

(1) 認知症高齢者数の推移

①認知症高齢者数の推移



※平成25・26年は11月30日時点、平成27年以降は4月1日時点

認知症高齢者数 (※)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)
65歳以上 (日常生活自立度Ⅱ以上)	68,554人	69,309人	72,166人	75,425人	77,693人	82,082人
前年増加率	104.9%	101.1%	104.1%	104.5%	103.0%	105.6%
75歳以上 (再掲) (日常生活自立度Ⅱ以上)	59,942人	61,210人	64,017人	67,179人	69,352人	72,834人

※ ここでの「認知症高齢者」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の人としている

②高齢者数 (第1号被保険者数) 各年3月末現在

	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)
高齢者数 (65歳以上)	672,774人	680,434人	684,566人	686,968人	687,673人	686,793人
再掲: 75歳以上【A】	324,805人	338,163人	347,195人	356,680人	361,314人	360,296人
再掲: 85歳以上【B】	88,368人	93,334人	98,864人	103,844人	109,293人	115,736人
【B】 / 【A】 (※)	27.2%	27.6%	28.5%	29.1%	30.2%	32.1%

※ 75歳以上の高齢者に占める85歳以上の高齢者の割合

➤**認知症有病率が高い85歳以上の高齢者の増加が、認知症高齢者数の増加に影響していると推察できる。**

(2) 認知症高齢者の将来推計について

①数学モデルにより算出された2012年の性・年齢階級別認知症有病率

年齢階級	男性	女性
65-69歳	1.94%	2.42%
70-74歳	4.30%	5.38%
75-79歳	9.55%	11.95%
80-84歳	21.21%	26.52%
85歳以上	47.09%	58.88%

※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)による速報値



上記速報値に国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018)年3月推計)」による大阪市の男女別・年齢階級別人口の将来推計をかけて、大阪市内の認知症高齢者数の将来推計を行った

②認知症高齢者の将来推計 (大阪市)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
認知症有病者数	12.1万人	13.7万人	14.9万人	15.6万人	15.4万人
認知症有病率	17.1%	19.5%	20.9%	21.1%	19.5%

➤**今後も当面の間、大阪市内における認知症高齢者数の増加が見込まれる**

(3) 所在地別の認知症高齢者等（日常生活自立度Ⅱ以上）の数

	認知症 高齢者等	認定申請時の所在（再掲）				
		在宅	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	その他
総数	83,785	46,557	7,283	4,249	146	25,550
40歳～64歳	1,703	897	51	45	3	707
65歳以上	82,082	45,660	7,232	4,204	143	24,843
65～74歳	9,248	5,515	372	223	19	3,119
75歳以上	72,834	40,145	6,860	3,981	124	21,724

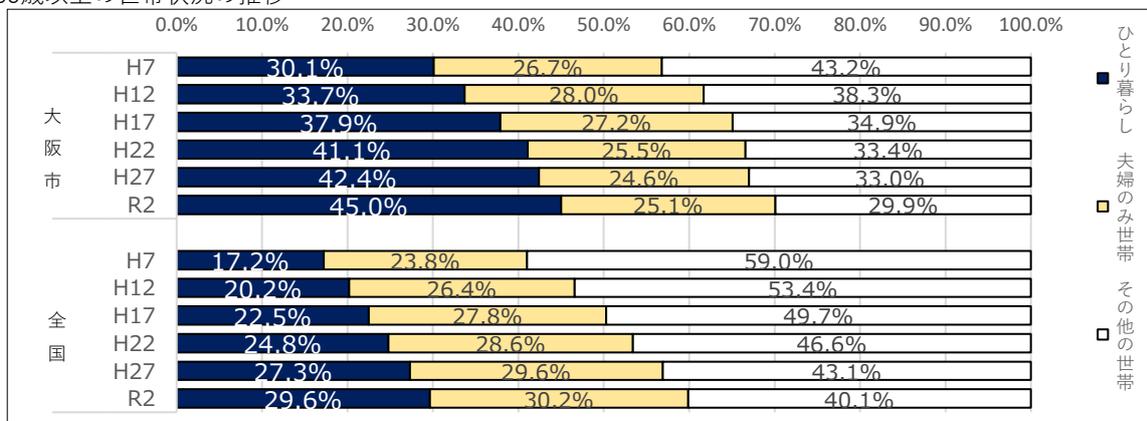
※大阪市福祉局調べ 2021年4月1日現在

※「その他の施設」は、認知症高齢者グループホーム、特定施設入居者生活介護適用施設、医療機関等

➤2021（令和3）年4月1日現在の要介護認定申請に係る認定調査において、認知症高齢者等のうち約56%の方が在宅で生活されている。

(4) 世帯の状況について

65歳以上の世帯状況の推移



➤令和2年度国勢調査によると、高齢者がいる世帯の状況として、ひとり暮らしの割合が全国に比べ高い状況となっており、今後も増加が続くと見込まれる。

2. 若年性認知症について

①大阪市における日常生活自立度Ⅱ以上の数

認知症者数	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)
40歳～64歳 (日常生活自立度Ⅱ以上)	1,539人	1,508人	1,487人	1,516人	1,519人	1,703人

※ ここでの「若年性認知症患者数」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の人としている

②若年性認知症の人の推計値（日本医療研究開発機構認知症研究開発事業「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多角的データ共有システムの開発」（R2.3）に基づく）

	推計人口数	10万人当たり 有病率（人）	若年性認知症 （推計値・人）
40～44歳	187,487	8.3	15.6
45～49歳	219,490	17.4	38.2
50～54歳	204,463	43.2	88.3
55～59歳	173,015	110.3	190.8
60～64歳	142,909	274.9	392.9
計			725.8

※推計人口数は、令和3年4月1日時点（都市計画局調べ）

➤令和2年3月の若年性認知症実態調査結果では、18～64歳人口10万人当たりの有病率は50.9人

➤これを大阪市の40～64歳推計人口にあてはめると、725.8人となる。

※日本医療研究開発機構認知症研究開発事業「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多角的データ共有システムの開発」（R2.3）